

<2017年9月 航空機事故発生関連記事一覧>

発行日:2017年10月4日

記事日付	航空会社等	記事見出し	事案概要
9.04	香港航空	新千歳 香港航空機が緊急着陸	4日午後6時過ぎ、新千歳から香港に向かっていた香港航空機A330型の機長から、「機内の気圧が下がった」という連絡が入り、引き返して緊急着陸した。
9.05	JAL	エンジンから火、緊急着陸	5日午前11時頃、羽田C滑走路を離陸したJAL006便B777型の左エンジンから出火、緊急事態を宣言し、房総半島沖で燃料を投棄した後、1時間後に同空港に緊急着陸した。
9.08	ANA	胴体パネル落下、重さ2キロ	7日午後7時過ぎ、中国南部アモイ発成田行きANA機が、着陸後の点検で、脱出シューターのパネルの脱落を発見。(翌日も同機から同パネルが落下。1枚目は27日に茨城県で発見された)
9.08	成田空港 周辺	航空機の落下物か? 成田・民家の屋根瓦破損	成田市荒海の民家で、屋根の破損が見つかり、航空機落下物の可能性があることが8日わかった。民家はA滑走路の北約11キロの延長線上で落下物が相次ぎ、住民から懸念の声が上がっている地域。8月23日昼頃、住人が気づいた。9月3日に業者が調べたところ3枚が割れていた。
9.24	大阪市内 南森交差点 付近	KLM機から胴体パネル落下、車直撃	23日午前11時頃、関西空港を離陸したKLM868便 B777型機から、長さ1m・巾60cm・重さ4.3Kgの胴体パネルが落下し、大阪市北区の国道1号線を走行中の乗用車の屋根を直撃した。運輸安全委員会は、重大インシデントとして調査を進める。
9.25	エアソウル	飛行中右エンジン停止＝那覇に緊急着陸	25日、グアムから韓国に向かっていたエアソウル101便が、那覇の東660キロの上空で右エンジンが停止。午前7時40分頃、那覇空港に緊急着陸。
9.25	シドニー空港	ソフトウェア故障で3時間離着陸ストップ	25日早朝、管制ソフトウェアが故障。どの点がどの航空機か全く分からなくなった。
9.27	JAL	羽田空港でJAL機のエンジンから火か 離陸中止	27日午前8時前、羽田発松山行きJAL431便B737型が離陸しようと滑走路に入ったところ、右エンジンから火のようなものが出たのを後ろにいたANA機が確認した為、離陸を中止した。
9.27	ANA	ANA機から落下のパネルか、住宅街一角で発見 (強化プラスチック製、縦最大60センチ・横147センチの台形状)	27日午前11時頃、茨城県稲敷市江戸崎甲、特殊鋼専門商社の倉庫敷地芝生で、航空機からの落下物とみられるパネル(3.14Kg)を従業員が発見し消防に通報した。この部品は9月7/8日に連続して脱落した部品の内の1枚。脱落原因は、非常脱出シューターを開く為の、高圧窒素ガスの緩やかなガス漏れ。
9.28	ORC オリエンタル エアブリッジ	プロペラ機が長崎空港に緊急着陸、客室内に"霧のようなもの"	27日夜、長崎発対馬行きボンバルディア機機内で、離陸後およそ20分後(午後6時55分)に霧のようなものが出ているのが見つかり、長崎空港に引き返して7時43分緊急着陸。この機は24日にエンジンに不具合が見つかり、整備を終えて27日運行再開したばかりでした。
9.28	バニラエア	バニラエア機から部品落下 成田滑走路が一時閉鎖	27日夜、成田空港に到着した602便A320型から、翼の付け根に設置されている直径20センチ程のガラス製の着陸灯の部品がなくなっていることが、着陸後の点検で分かった。滑走路を閉鎖して捜索したが見つからなかった。
9.28	アジアナ	操縦士ら機内で大ゲンカ	9月20日、仁川発ローマ行OZ561便の操縦室内で、機長の引継ぎをめぐって機長同士が大ゲンカ。1人がペットボトルを投げつけた。(操縦関係の機器が濡れたら大事故の原因にも..)
9.29	JAL	国際線操縦室で異臭 新千歳空港に着陸	29日午後3時半、LA発成田行きJAL61便 B777型機の機長から「操縦室内で焦げた臭いがしたので目的地を変更して新千歳空港に着陸する」という連絡。午後4時50分過ぎ、同空港に着陸。操縦室内のプリンターの発熱が原因だった。
9.29	オスプレイ	石垣島に緊急着陸	29日夕方、普天間所属のオスプレイ1機がエンジントラブルで新石垣島空港に緊急着陸
10.1	エール フランス	AF66便、第4エンジン損傷で カナダに緊急着陸	30日、パリ発LA行エアバスA380型機のファンブレードとエンジンカウルなどが吹き飛び、カナダ・グースベイ空港に緊急着陸した

内容に、要追加・要訂正箇所等ありましたら、ご一報ください